

エコアクション21

環境活動レポート

期間 H31.1～R1.12



作成日 R2.2.17



昭栄設備工業株式会社



目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境目標
6. 環境活動計画
7. 環境目標の実績
8. 環境活動計画の取組結果とその評価
9. 次年度の環境活動計画の取組内容
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無
11. 代表者による全体評価と見直しの結果

1.組織の概要

(1) 名称及び代表者名

昭栄設備工業株式会社
代表取締役 松井 晶久

(2) 所在地

〒781-5103
高知県高知市大津乙1830番地4

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 技術部次長 水野 敏久
連絡先担当者 経理部 黒瀬 志保
連絡先 TEL: 088-866-2010
FAX: 088-866-2961
E-mail shoei01@lime.ocn.ne.jp

(4) 建設業許可

建設業許可番号 高知県知事 許可(特-29)第1204号
種類 管工事業

建設業許可番号 高知県知事 許可(般-29)第1204号
種類 消防施設工事業
水道施設工事業
電気工事業

(5) 事業の規模

設立年月日 1973年
資本金 2千万円
売上高 R1: 620百万円 H30: 576百万円
H29: 665百万円 H28: 562百万円
従業員数 19名(R2.1月現在)
事業所敷地面積 1305m² (本社)
延べ床面積 406m²

(6) 会計年度 1月～12月

2.対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

対象範囲(認証・登録範囲) 昭栄設備工業株式会社 全社

対象事業所 本社

事業活動 ・管工事業(給排水衛生設備工事 空気調和設備工事)
・水道施設工事業
・消防施設工事業
・電気工事業

レポートの対象期間 R1.1～R1.12

環境活動レポートの発行日 R2.2.17

次回環境活動レポートの発行日の予定 R3.2 頃

作成責任者 環境管理責任者 水野 敏久

3. 環境方針

環境方針

基本理念

当社は、管工事業を通じて地球温暖化を防止するため、環境保全活動を推進することが、企業の社会的責任の一つと認識し、事業活動から生ずる環境負荷を低減していきます。

基本方針

1. 環境に配慮した、設計施工を行います。
2. 車両の燃料使用量の軽減、節約に努め、二酸化炭素排出量を削減します。
3. 事務所や工事現場における電力使用量の軽減、節約に努め、二酸化炭素排出量を削減します。
4. 事務所や工事現場における廃棄物発生量の削減やリサイクルを推進します。
5. 事務所の節水活動により、水使用量を削減をします。
6. 工事にて使用する材料等に付帯する化学物質については使用物質の把握及び管理を徹底し使用を削減します。
7. 工事現場の資材や事務用品のグリーン購入法適合商品の購入を推進します。
8. 清掃ボランティア活動等の地域環境活動を推進します。
9. 環境関連法規や条例等を遵守します。
10. 環境方針を従業員に周知徹底します。
11. 環境活動レポートなど環境情報について外部へ公表します。

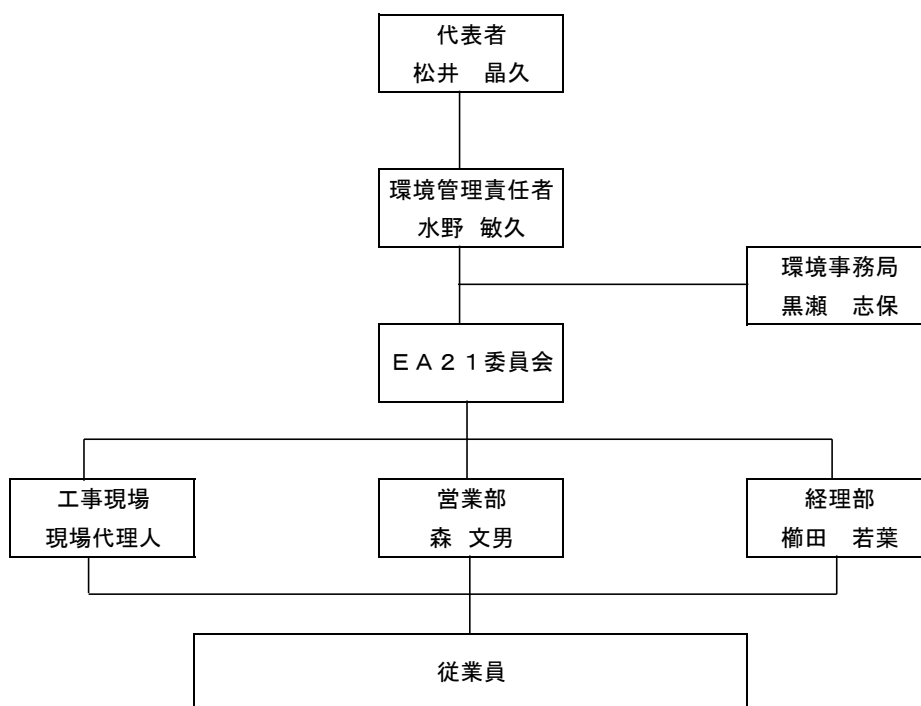
改定日：2018年 1月15日

 昭栄設備工業株式会社

代表取締役

4. 環境管理組織体制

作成年月日 R2. 1. 14



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標、環境活動計画を承認 代表者による全体評価と見直し実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標、環境活動計画を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 自部門に係る環境活動計画の実施、達成状況報告 自部門に係る緊急事態訓練の実施 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境目標

(令和元年度)

<総量目標>

(1) 単年度目標

項目		単位	基準年 H24年度 H24.1-H24.12	R1年度目標 (-6%) H31.1-R1.12	
燃料使用量	ガソリン	(ℓ)	19,328	18,168	
	軽油	(ℓ)	631	593	
LPガス使用量		(kg)	21.1	19.8	
電力使用量		(kWh)	17,440	16,394	
CO ₂ 排出量	総排出	(kg-CO ₂)	53,666	50,446	(* 1)
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	87.8	82.6	
用水使用量		(m ³)	279	262	(* 2)
一般廃棄物排出量		(t)	3.12	2.93	
産業廃棄物排出量		(t)	82.45	77.50	
環境に配慮した設計施工		(件数)	52	全件	(* 3)
リモデル工事		(箇所)	27	29	(* 4)
グリーン購入法適合商品の販売		(品)	49	52	(* 5)
グリーン商品の購入(文房具類)		(%)	47	50	(* 6)
地域環境活動(清掃ボランティア)		(件数)	5	4回以上	

* 1. 電力のCO₂ 排出量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(2009年度実績)

(平成22年12月27日公表)の四国電力の実排出係数0.407(kg-CO₂/kWh)を使用した。

※CO₂排出量の原単位については、基準年(H24年度)売上高611百万円当たりの値である。

* 2. 期間は水道検針表と同様とします。(平成25年度実績より)

* 3. 環境に配慮した設計施工は、全受注工事を対象とする。

環境負荷の少ない工事

- ・環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用
- ・低騒音・排出ガス型重機の使用

* 4. リモデル工事とは、和風便器を節水型洋風便器へ取り替える工事である。

* 5. 空調機のグリーン購入法適合商品の推奨販売台数。

* 6. グリーン商品の購入金額の割合。

(2) 中長期目標

項目		単位	H24年度 実績(基準年) H24.1-H24.12	R1年度目標 (-6%) H31.1-R1.12	R2年度目標 (-6.5%) R2.1-R2.12	R3年度目標 (-7%) R3.1-R3.12	R4年度目標 (-7.5%) R4.1-R4.12
燃料使用量	ガソリン	(ℓ)	19,328	18,168	18,072	17,975	17,878
	軽油	(ℓ)	631	593	590	587	584
LPガス使用量		(kg)	21.1	19.8	19.7	19.6	19.5
電力使用量		(kWh)	17,440	16,394	16,306	16,219	16,132
CO ₂ 排出量	総排出	(kg-CO ₂)	53,666	50,446	50,178	49,909	49,641
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	87.8	82.6	82.1	81.7	81.2
用水使用量		(m ³)	279	262	261	259	258
一般廃棄物排出量		(t)	3.12	2.93	2.92	2.90	2.89
産業廃棄物排出量		(t)	82.45	77.50	77.09	76.68	76.27
環境に配慮した設計施工		(件数)	52	全件	全件	全件	全件
リモデル工事		(箇所)	27	29	29	29	29
グリーン購入法適合商品の販売		(品)	49	52	52	52	53
グリーン商品の購入(文房具類)		(%)	47	50	50	50	51
地域環境活動(清掃ボランティア)		(件数)	5	4回以上	4回以上	4回以上	4回以上

6. 環境活動計画

期間： H31.1.1 ～ R1.12.31

項目		活動内容	担当者
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減 	<ul style="list-style-type: none"> ○アイドリングストップ ○使用しない道具を積み込まない, 軽量化 ○タイヤの空気圧チェック ○安全運転、スピード違反の禁止 ○排出ガス規制の重機使用 ○計画的な運行計画 ○忘れ物をしない 	味志 幸治
	電力使用量 削減 	<ul style="list-style-type: none"> ○昼休み等こまめな消灯, 必要限度の照明 ○LED照明の使用 ○エアコン使用時間短縮, (夏季28度冬季20度) ○夏は扇風機の使用を心掛ける 	
用水使用量削減 (排水量削減)		<ul style="list-style-type: none"> ○節水の周知徹底、声掛け ○節水器具の設置 (水栓内 節水コマの取付け等) ○漏水点検 	水野 敏久
廃棄物削減 	産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物の分別徹底 ○排出量の削減, リサイクル, 適正処理 ○マニフェストの管理 	水野 敏久
	一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○用紙の使用量 コピー, 印刷ミス削減 ○排出量の削減, リサイクル, 適正処理 ○使用済みコピー用紙のリサイクル 	
環境に配慮した設計施工の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ○省資源化と高効率化を図る配管ルート検討 ○環境負荷の少ない資材の使用 (ホルムアルデヒド発散量が少ないF☆☆☆☆規格の材料の使用など) ○建設重機は超低騒音型, 排出ガス基準適合車を使用 	石川 禎久
リモデル工事		○和便から洋便への取替工事の提案、施工	石川 禎久
グリーン購入法適合商品の販売 	○グリーン購入法に適合した空調機の販売		石川 禎久
	○メーカーの新商品等の講習会の参加、エコ商品の把握		
グリーン商品の購入		○ホームページの更新作成、エコ商品・工事のアピール	榎田 若葉
化学物質への配慮		○事務用品や事務機器等のグリーン調達の促進	黒瀬 志保
地域環境活動 		○配管接着剤等の有害化学物質, VOCの確認、管理	森 文男
エコアクション21周知活動(回覧記録)		<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア清掃活動 ○地域清掃活動 ○交通エコポイント ○緑の募金 	松井 晶久
エコアクション21周知活動(回覧記録)		○社内の環境教育の実施	松井 晶久

7. 環境目標の実績

(1) 本年度の実績

項目	単位	基準年 H24年度 H24.1-H24.12	R1年度目標 (-6%) H31.1-R1.12	R1年度実績 H31.1-R1.12	目標との差	評価	
燃料使用量 ガソリン	(ℓ)	19,328	18,168	18,433	+265	×	
燃料使用量 軽油	(ℓ)	631	593	1,429	+836	×	
LPガス使用量	(kg)	21.1	19.8	3.7	▲ 16.1	○	
電力使用量	(kWh)	17,440	16,394	14,721	▲ 1673	○	
CO ₂ 排出量	総排出	(kg-CO ₂)	53,666	50,446	52,493	+2047	×
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	87.8	93.1	84.7	+2.1	×
用水使用量	(m ³)	279	262	110	▲ 152	○	
一般廃棄物排出量	(t)	3.12	2.93	3.88	+0.95	×	
産業廃棄物排出量	(t)	82.45	77.50	100.66	+23.16	×	
環境に配慮した設計施工	(件数)	52	全件	全件(44)	0	○	
リモデル工事	(箇所)	27	29	75	+46	○	
グリーン購入法適合商品の販売	(品)	49	52	116	+64	○	
グリーン商品の購入(文房具類)	(%)	47	50	41	▲ 9	×	
地域環境活動(清掃ボランティア)	(件数)	5	4回以上	3	▲ 1	×	

* 1. 購入電力のCO₂排出係数は平成22年12月27日公表の四国電力の実排出係数0.407kg-CO₂/kWhを使用した。

※CO₂排出量の原単位については、基準年(H24年度)売上高611百万円当たりの値である。

* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

* 3. 環境負荷の少ない工事件数

○環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用

○低騒音・排出ガス型重機の使用

* 4. 評価 : 達成 ○ 未達成 ×

※環境に配慮した設計施工とは、環境負荷の少ない工事のことである。

・環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用

・低騒音・排出ガス重機の使用

※リモデル工事とは、和風便器を節水型洋風便器へ取り替える工事である。

※グリーン購入法適合製品(空調機)とは冷房能力が28kW(10馬力)以下のものについて適用

省エネルギー性: 通年エネルギー消費効率(APF)が基準値の114%以上であること

冷媒の環境性: オゾン層を破壊する物質が含まれていないこと

現在の空調機は10年前よりも省エネ性能が40%程度UPしているためCO₂の排出量も削減することができる。

<環境目標評価結果>

・ガソリンが増えた理由としては遠方の現場工事が多くあった為だと考えられる。

軽油が増えた理由として、ユンボ・ダンプ等の建設重機を使用する工事が増加した為。

ガソリン・軽油共に使用量が増えた為、CO₂排出量も増えてしまった。

・LPガス使用量が減った理由はR1年8月よりガスを解約した為であり、次年度からは項目に記載しない事とする。

・電力使用量が減った理由として、クールビズ・ウォームビズに取り組み、夏場も各自が卓上扇風機の使用を心掛け、社員全員が意識し協力できた結果、目標を達成することができた。

・リモデル工事とは、和風便器を節水型洋風便器へ取り替えることであるが、今年度は大幅に増加し目標を達成できた。今後も積極的に営業活動を行う。

・省エネ空調機(28kw以下)も大幅に目標を達成できたので次年度も引き続き目標を目指す。

・グリーン商品の未達成理由は環境商品が基準年に比べて少なかった為。

・多忙な時期が重なり、清掃ボランティアが目標未達成となった。次年度は積極的に取り組む事とする。

7. 環境目標の実績

(2) 5年間のCO₂排出量の推移

		H24年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
売上高（百万円）		611	652	562	665	576	620
CO ₂ 排出量	総排出 (kg-CO ₂)	53,666	47,067	43,157	45,248	43,289	52,493
	原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	87.8	72.2	76.8	68.0	75.2	84.7

(3) エネルギーコスト概算

	単位	使用量	単価(仮)	金額(円)
電力	kWh	14,721	25	368,025
ガソリン	L	18,433	150	2,764,950
軽油	L	1,429	120	171,480
合計金額				3,304,455

年間のエネルギーコストは概算：約330万円

当該年度を基準とし、CO₂排出量を **3%削減した場合、約9.9万円の節約** となる。

売上高に占めるエネルギー費用の割合は 0.5%

(4) CO₂→1t当たりのエネルギーコスト

当該年度を試算

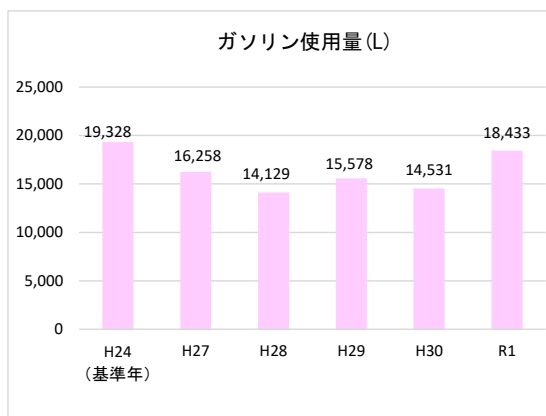
1tのCO₂は5.6万円

7-2. H27年度～R1年度の環境目標の実績

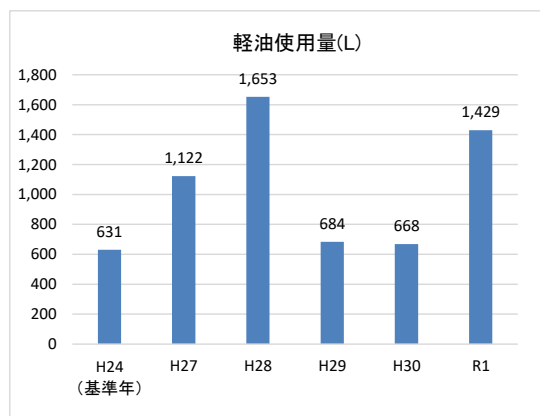
項目	単位	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1年度		
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
燃料使用量ガソリン	(ℓ)	18,555	16,258	18,458	14,129	18,362	15,578	18,265	14,531	18,168	18,433	
燃料使用量軽油	(ℓ)	606	1,122	603	1,653	599	684	596	668	593	1,429	
LPガス使用量	(kg)	20	3.7	20.2	3.9	20	5.8	19.9	19.4	19.8	3.7	
電力使用量	(kWh)	16,742	15,745	16,655	14,906	16,568	17,814	16,481	18,973	16,394	14,721	
二酸化炭素排出量	総排出	(kg-CO ₂)	51,519	47,067	51,251	43,157	50,983	45,248	50,714	43,289	50,446	52,493
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)		72.2	83.9	76.8	83.4	68.0	83.0	65.1	82.6	84.7
用水使用量	(m ³)	268	109	279	91	265	107	264	120	262	110	
一般廃棄物使用量	(t)	2.99	3.14	3.12	2.89	2.96	3.2	2.95	8.12	2.93	3.88	
産業廃棄物使用量	(t)	79.15	66.93	82.45	52.66	78.33	53.63	77.92	80.45	77.5	100.66	
完成工事高(売上高)	(百万円)		652		562		665		576		620	

7-3. H27年度～R1年度の環境目標の実績グラフ

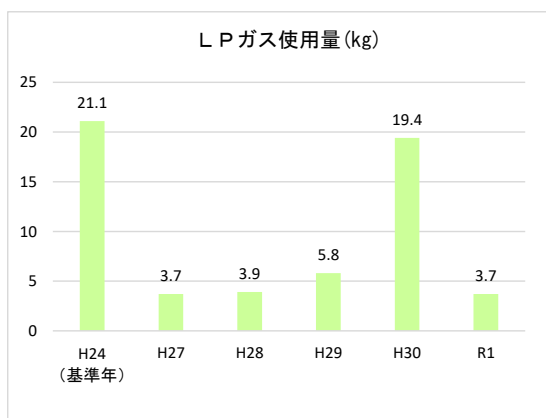
ガソリン 前年比 +3,902L 【26.9%増加】



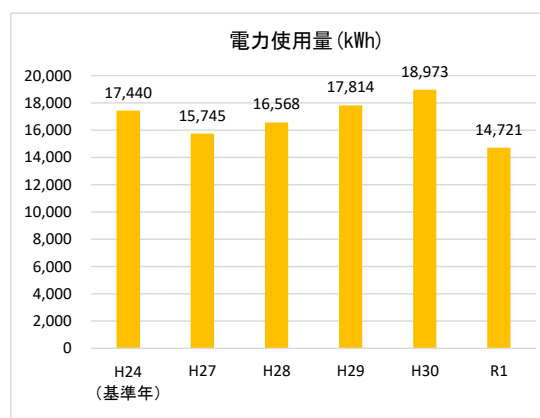
軽油 前年比 +761L 【113.9%増加】



LPガス 前年比 -15.7L 【80.9%削減】

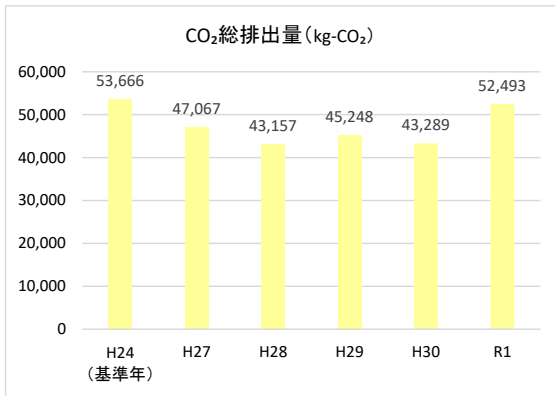


電力 前年比 -4,252kWh 【22.4%削減】

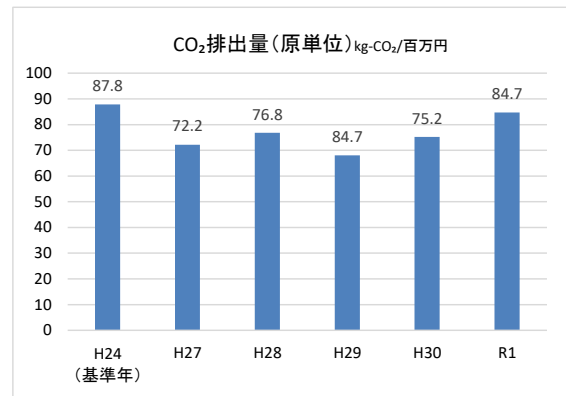


7-3. 環境目標の実績グラフ

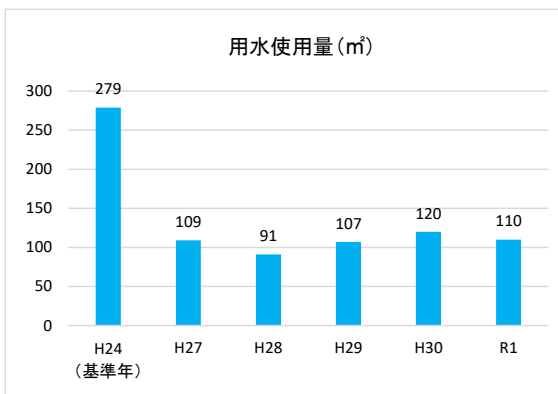
CO₂排出量(総排出)前年比 +9,204kg-CO₂【21.3%増加】



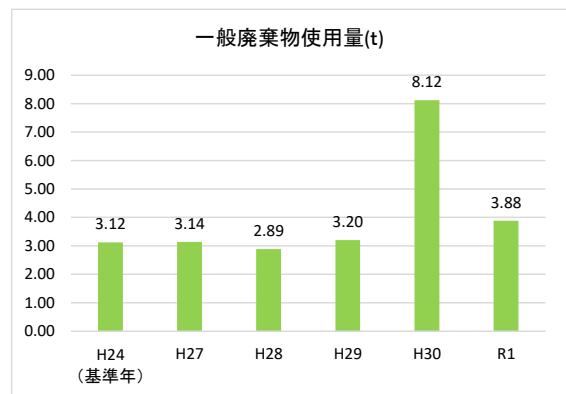
CO₂排出量(原単位)前年比 +9.5【12.6%増加】



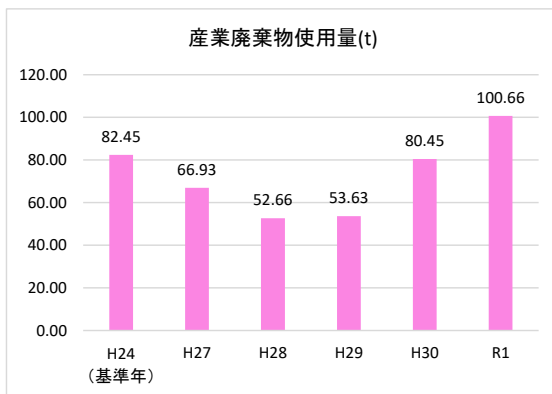
用水量前年比 -10m³【8.3%削減】



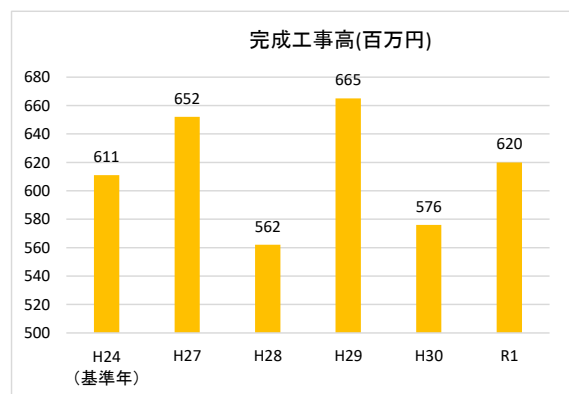
一般廃棄物前年比 -4.24t【52.2%削減】



産業廃棄物前年比 +20.21t【25.1%増加】



完成工事高前年比 +44(百万円)【7.6%増加】



8. 環境活動計画の取組結果とその評価

期間: H31.1.1 ~ R1.12.31

項目		活動内容	評価	取組結果・見直し
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	・アイドリングストップ	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッド車を使用 ・移動する際は、合理的なルートを選定を行い、且つ乗り合わせを図る。 ・日々、安全運転に関する声掛けを行い事故防止に努める。
		・使用しない道具を積み込まない、軽量化	○	
		・タイヤの空気圧チェック	○	
		・安全運転、スピード違反の禁止	○	
		・排出ガス規制の重機使用	○	
		・計画的な運行計画	○	
		・忘れ物をしない	○	
	電力使用量 削減	・昼休み等こまめな消灯,必要限度の照明	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本社にLED照明を使用。現場で使用する照明器具も、LEDを使った器具に順次取り換えていく。 ・夏場のエアコンはできるだけ我慢し、午前中は各自卓上扇風機で過ごすなどの取り組みを行い、目標を達成できた。
		・LED照明への取替,採用	○	
		・エアコン使用時間短縮,温度調整(夏季28度冬季20度)	○	
		・夏は扇風機の使用を心掛ける	○	
用水使用量削減 (排水量削減)		・節水の周知徹底、声掛け	○	<ul style="list-style-type: none"> ・節水対策として地下水を利用 ・漏水点検は今後も定期的に行う。
		・節水器具の設置	○	
		・漏水点検	○	
廃棄物 排出量削減	産業	・廃棄物の分別徹底	○	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外配管が減少したため全体的に廃棄物の合計量が減った。 ・現場では廃棄物の分別を徹底して行っており、引き続きその活動を行う。
		・排出量の削減,リサイクル適正処理	○	
		・マニフェストの管理	○	
	一般	・用紙の使用量 コピー,印刷ミスの削減	○	
		・排出量の削減,リサイクル適正処理	○	
		・使用済みコピー用紙のリサイクル	○	
環境に配慮した設計施工の実施		・省資源化と高効率化を図る配管ルートを検討	○	<ul style="list-style-type: none"> ・エコケープルや木材、コーキング材等F☆☆☆☆規格の材料を使用し、将来焼却及び埋め立て処理を行う場合でも、有害物質の元となる塩素系や鉛成分を含んでいない材料を選定して使用する。 ・今後も継続したいと思います。
		・環境負荷の少ない資材の使用 (ホルムアルデヒド発散量が少ないF☆☆☆☆規格の材料の使用など)	○	
		・建設重機は超低騒音型,排出ガス基準適合車を使用	○	
リモデル工事		・和便から洋便への取替工事の提案、施工	○	・大幅に増加した。今後も営業活動を積極的に行う。
グリーン購入法適合商品の販売		・グリーン購入法に適合した空調機の販売	○	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から大幅に増加した。今後も営業活動を積極的に行う。
		・メーカーの新商品等の講習会の参加、エコ商品の把握	○	
		・ホームページの更新作成、エコ商品・工事のアピール	○	
グリーン商品の購入		・グリーン購入法適合商品の購入,推進	○	<ul style="list-style-type: none"> ・購入実績を毎月確認して、グリーン商品の購入率を把握する。
		・事務用品や事務機器等のグリーン調達促進	△	
化学物質への配慮		・配管接着剤等の有害化学物質,VOCの確認、管理	○	・第一種化学物質は使用していない。他の化学物質についてはSDSで管理徹底していく。
地域環境活動		・ボランティア清掃活動	△	<ul style="list-style-type: none"> ・多忙な時期が重なりボランティア清掃活動への参加が目標達成できなかった。 ・地域清掃活動は実施できた。 ・環境募金活動は今後も引き続き行う。
		・地域清掃活動	○	
		・交通エコポイント	○	
		・緑の募金、こうち環境博への募金	○	
エコアクション21周知活動(回覧記録)		・社内の環境教育の実施	○	・今後も行っていく。

■ 評価方法 ■

毎月実施の自社でのパトロールおよび現場作業所での環境パトロール
(但し、公共工事または請負金額 100万円以上の工事を対象とする)により
点検を行い、その結果を評価する。

評価入力内容

○	達成
△	不十分
×	未達成

9. 次年度の環境活動計画の取組内容

期間： R2.1.1 ～ R2.12.31

項目		活動内容	担当者
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	※重機のエコモード運転の運用	味志 幸治
		・アイドリングストップ	
		・使用しない道具を積み込まない,軽量化	
		・タイヤの空気圧チェック	
		・安全運転、スピード違反・過積載の禁止	
		・排出ガス規制の重機使用	
		・計画的な運行計画	
		・忘れ物を取りに帰るなどのロスをしない	
	電力使用量削減	・昼休み等こまめな消灯,必要限度の照明	黒瀬 志保
		・LED照明の使用	
		・エアコン使用時間の短縮	
		・エアコンの温度調整管理(夏季28度冬季20度)	
		・ウォームビス・クールビスを積極的に活用する	
		・夏は扇風機の使用(併用)を心掛ける。	
用水使用量削減 (排水量削減)	・節水の周知徹底、声掛け	水野 敏久	
	・節水器具の設置(水栓内 節水コマの取付け等)		
	・漏水点検		
廃棄物 排出量削減	産業廃棄物	・廃棄物の分別徹底	水野 敏久
		・排出量の削減,リサイクル,適正処理	
		・マニフェストの管理	
	一般廃棄物	・用紙の使用量 コピー,印刷ミスの削減	
		・排出量の削減,リサイクル,適正処理	
		・使用済みコピー用紙のリサイクル	
環境に配慮した設計施工の実施		・省資源化と高効率化を図る配管ルートを検討	石川 禎久
		・環境にやさしい資材の使用 (ホルムアルデヒド発散量が少ないF☆☆☆☆規格の材料の使用など)	
		・建設重機は超低騒音型,排出ガス基準適合車を使用	
リモデル工事		・和便から洋便への取替工事の提案、施工	石川 禎久
グリーン購入法適合商品の販売		・グリーン購入法に適合した空調機の販売	石川 禎久
		・メーカーの新商品等の講習会の参加、エコ商品の把握	
		・ホームページの更新作成、エコ商品・工事のアピール	榎田 若葉
グリーン商品の購入		・グリーン購入法適合商品の購入,推進	黒瀬 志保
		・事務用品や事務機器等のグリーン調達促進	
化学物質への配慮		・配管接着剤等の有害化学物質、VOCの確認・管理	森 文男
地域環境活動		・ボランティア清掃活動	松井 晶久
		・地域清掃活動	
		・交通エコポイント	
		・緑の募金、こうち環境博への募金	
エコアクション21周知活動(回覧記録)		・社内での環境教育の実施	

※新規活動

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	松井 晶久	遵守	R2.1.14
	第12条	○産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	黒瀬 志保	遵守	R2.1.14
	第12条の三	○産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	榎田 若葉	遵守	R2.1.14
	第12条の三 7項	○マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	黒瀬 志保	遵守	R2.1.14
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	森 文男	遵守	R2.1.14
騒音規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	味志 幸治	遵守	R2.1.14
振動規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	森 文男	遵守	R2.1.14
消防法	第8条	○防火管理者の選任、消防計画の作成 （遅滞なく所轄消防長又は消防署長に届出）	必要時	森 文男	遵守	R2.1.14
建設リサイクル法	第16条	分別解体の実施及び再資源化の実務義務	1ヶ月	森 文男	遵守	R2.1.14
家電リサイクル法		家電リサイクル券の発行管理	3ヶ月	森 文男	遵守	R2.1.14
フロン排出抑制法		事業者によるフロン類の算定漏洩量等の報告 1,000 C02-t/年以上、事業所所管大臣へ報告	年1回	益 恵一	遵守	R2.1.14
浄化槽法	第5条	都道府県知事に浄化槽設置届提出	必要の都度	松井 晶久	遵守	R2.1.14
グリーン購入法	第5条	物品購入等の際し、できる限り環境物品等を選択	必要時	黒瀬 志保	遵守	R2.1.14
道路法	第7条2 第47条	道路占用許可の申請 特殊車両通行の許可の申請	必要時	水野 敏久	遵守	R2.1.14
道路交通法	第77条	道路使用許可の申請	必要時	水野 敏久	遵守	R2.1.14
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	松井 晶久	遵守	R2.1.14
高知市公害防止条例	第4条	事業活動に伴う環境への負荷の低減	1ヶ月	松井 晶久	遵守	R2.1.14
高知県環境基本条例	第6条	事業活動による公害を防止	1ヶ月	松井 晶久	遵守	R2.1.14

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

H31.1.1よりR1.12.31まで、環境関連法規等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって環境関連法規等の違反、訴訟及び環境に関する外部からの苦情等はありませんでした。



11. 代表者による全体評価と見直しの結果

- 定期見直し
- 臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】				【環境方針】	
①環境関連法規制等の遵守状況 業務に関する道路法（第7条2・第47条）、道路交通法（第77条）を追加しました。 環境関連法規制等に関する違反はありません。				変更の必要性： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 H31. 1. 1～R1. 12. 31までの間、問題点の是正・予防となるものはありませんでした。				経営における課題とチャンスを踏まえ、環境経営方針を見直す。	
③前回までの代表者の指示事項への対応 ・電力使用量が増加し目標未達成を改善する為、夏季の扇風機併行使用を励行し 合わせてクールビズ・ウォームビズなどの適応策を工夫し目標を達成できました。				【環境目標・環境活動計画】	
<改善提案> 目標未達成項目及び活動については、社内会議で情報共有しながら問題点を検討し 改善していく。				変更の必要性： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
【目標・環境活動計画の達成状況】				・未達成、不十分な活動については定例会で周知徹底し改善して 取り組むこと。	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	・環境目標・活動項目以外も、エコと思われる活動内容があれば 積極的に行なう。	
燃料使用量 ガソリン	×	○	目標を達成できなかった理由として 遠方の現場が多かった事が原因と考えられる。	・一般廃棄物排出量については、総量では目標達成できなかったが 再資源化率では100%達成されている。	
燃料使用量 軽油	×	○	ユンボ・ダンプ等の建設重機を使用 する工事が増加した為目標未達成と なった。	・電力使用量は社員全員の意識と協力もあり目標を達成できた。 次年度も引き続き節電に取り組みたい。	
電力使用量	○	○	適応策を考え社員全員で取り組めた 事により目標を達成できた。	・環境目標の基準年がH24年度と古いので近年の実績値を踏まえて 目標値の見直しを行う。	
リモデル工事	○	○	昨年度よりも更に増加し目標を達成 できた。今後も積極的に取り組む。	【実施体制】	
<改善提案> これからも、社員一人ひとりの意識向上を行ない、環境負荷低減に努めます。				変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
【周囲の変化の状況】				役割・責任・権限は有効に機能しており、変更の必要はない。	
①外部コミュニケーション記録より 地元住民等と打ち合わせを行っているので外部からの苦情等はありません。				【環境経営システム】	
②環境関連法規制等の動向他 特にありません。				変更の必要性： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<改善提案> 特にありません。				次年度は新ガイドラインに従って取りまとめる。	
代表者が自ら得た情報				【総括】 （環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載）	
特にありません。				エコアクションの活動を始めて9年、全従業員が内容を理解し、 省エネ・節電・節水等の取り組みを日常的にできるようになりました。 全体的な評価としては、昨年度達成できなかった電力使用量が 今年度は達成でき、その他和洋リモデル工事や省エネ空調機の販売も大幅に増加し 良かったと思います。次年度も引き続き目標達成できるように 努めていきたいと思っています。 一方で遠方の現場工事が多かったこともあり、ガソリン・軽油共に使用量が 増え目標未達成となりました。 今後は現場には必要最低限の車両を使用し、乗り合わせを心掛けるなどの 工夫をしていきたいと思っています。	